

# 平成 28 年版 治山・林道必携（積算・施工編） の正誤訂正関係資料について（追加）

本資料は、平成 28 年 12 月 19 日付けで更新いたしました正誤表の内容に 2 か所記載ミスがあったことが判明いたしました。謹んで訂正させていただきます。

ご利用中の皆様にはご迷惑をおかけしますがよろしくお願い申し上げます。

## 記

1 <上巻 1445 ページ> **（青字部分が記載ミスの訂正箇所です。）**

### 第 3 編 林道 第 3 橋梁工

#### 3-3 PC 桁架設工

1～4 （略）

5 横組工

（略）

(1)～(4) （略）

(5) 足場工及び防護工

① 足場工 （略）

② 防護工

ア 板張防護工

防護工費（両面朝顔）積算式の X の係数に下記のとおり記載ミスがありました。

(12月19日更新でお知らせした内容)

(誤)

桁下に鉄道、道路等があり、第三者に危害を及ぼすおそれのある場合に設置し、5-(5)-

①-アで求めた桁下足場工費に別途計上する。

なお、工費には、側面防護（朝顔）の費用も含まれている。

$$\text{防護工費（両面朝顔）} = (70 + 100X + 0.05y) \times A$$

(略)

↓

(正)

桁下に鉄道、道路等があり、第三者に危害を及ぼすおそれのある場合に設置し、5-(5)-

①-アで求めた桁下足場工費に別途計上する。

なお、工費には、側面防護（朝顔）の費用も含まれている。

$$\text{防護工費（両面朝顔）} = (70 + 150X + 0.05y) \times A$$

(お知らせした内容の記載ミスの訂正「青字部分」)

(誤)

桁下に鉄道、道路等があり、第三者に危害を及ぼすおそれのある場合に設置し、5-(5)-

①-アで求めた桁下足場工費に別途計上する。

なお、工費には、側面防護（朝顔）の費用も含まれている。

$$\text{防護工費（両面朝顔）} = (70 + 100X + 0.05y) \times A$$

(略)

↓

(正)

桁下に鉄道、道路等があり、第三者に危害を及ぼすおそれのある場合に設置し、5-(5)-

①-アで求めた桁下足場工費に別途計上する。

なお、工費には、側面防護（朝顔）の費用も含まれている。

$$\text{防護工費（両面朝顔）} = (70 + 110X + 0.05y) \times A$$

2 <上巻 1485 ページ> (青字部分が記載ミスの訂正箇所です。)

第3編 第4 道路維持工

4-2-1 舗装版破碎工 (機械)

1~3 (略)

4 施工歩掛

(1) 舗装版の破碎と掘削・積込みの施工歩掛

① 舗装版の破碎施工歩掛 (略)

② 舗装版の掘削・積込施工歩掛

ア~イ (略)

イ

ウ コンクリート舗装版の掘削・積込みをする作業の日当たり施工量

表番号及び表の区分欄に下記のとおり記載ミスがありました。

(12月19日更新でお知らせした内容)

表 4.5 日当たり施工量 (Q<sub>2</sub>)  
(誤)

		(m <sup>2</sup> /日)	
使用機械	<u>コンクリート</u> 舗装版厚	15 cm以下	15 cmを超え 35cm 以下 (15cm 以上 35 cm 以下)
	バックホウ排出ガス対策型 (第 1 次基準値) クローラ型山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> )	320	260
↓			
		(m <sup>2</sup> /日)	
使用機械	<u>コンクリート</u> 舗装版厚	15 cm以下	15 cmを超え 35cm 以下 (15cm 以上 35 cm 以下)
	バックホウ排出ガス対策型 (第 2 次基準値) クローラ型山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> )	320	260

お知らせした内容の記載ミスの訂正「青字部分」)

表 4.6 日当たり施工量 (Q<sub>2</sub>)  
(誤)

		(m <sup>2</sup> /日)	
使用機械	<u>アスファルト</u> 舗装版厚	15 cm以下	15 cmを超え 35cm 以下 (15cm 以上 35 cm 以下)
	バックホウ排出ガス対策型 (第 1 次基準値) クローラ型山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> )	320	260
↓			
		(m <sup>2</sup> /日)	
使用機械	<u>コンクリート</u> 舗装版厚	15 cm以下	15 cmを超え 35cm 以下 (15cm 以上 35 cm 以下)
	バックホウ排出ガス対策型 (第 2 次基準値) クローラ型山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> )	320	260

以上